

我が家の家庭果樹



大川普及センター
掛鯛 吉洋

今月は、かんきつの摘果、落葉果樹の夏季せん定についてお話しします。

1. かんきつ類の摘果作業

うんしゅうみかん

樹の状態が

- ① 開花期に花が多く新芽が少なく、現在、新梢がほとんど伸びていない。……………①
- ② 開花期に花が少なく新芽が多く、現在、新梢が勢いよく伸びている。……………②

①の場合

表年で着果量も多いと思われる。樹の内部になった果実や樹のすそになった果実など外回りから見えないところの果実は落とす。できれば、来年も果実がなるようにするため果実を全て落とす枝（直径1～2cm単位）を作りましょう。着果程度は、20葉に1果程度です。

②の場合

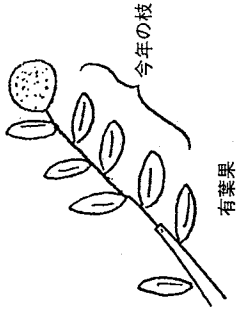
裏年で着花量が少ないと思われるので、中止しましょう。



中晩かん

（いよかん、あまなつ、はっさく、ネーブル）

摘果を実施するかしないかの判断は、うんしゅうみかんの場合と同じです。葉5～10枚の有葉果を樹全体にまんべんなく残しましょう。通常は、樹の内部より外部のほうが品質の良い果実が成りますが、ネーブルは樹の外周より少し内側になった果実のほうが品質が良いので、そのようなものを中心に残します。着果程度は100葉に1果程度です。



帽子一つに1個の割合で、大玉果のみ残し、他を摘果します。

2. 夏季せん定

冬のせん定の時に、「徒長枝が多いし、その下の枝は枯れ込んでせん定しにくいなあ」と思ったことはありませんか。夏季せん定は樹冠内部の風通しや日当たりを良くして枝の枯れ込みや病害虫の発生を抑えたり、枝の徒長を抑えて樹勢を整えたりする意味があります。樹勢が強く徒長枝が多く発生している場合に実施しましょう。

モモ、ウメ、スモモ

徒長枝（勢い良く伸びている強い枝）が多く発生している場合は間引きを行います。モモなどは直射日光が太枝に直接当たると日焼けを起こす場合がありますので適切な枝がない場合は、基部を10cm位残して切ると良いでしょう。

カキ

徒長枝が多く発生する場合は、必要なもの以外は基部から切除します。

キウイフルーツ

徒長枝などに込み合った部分の枝を基部より切除します。

